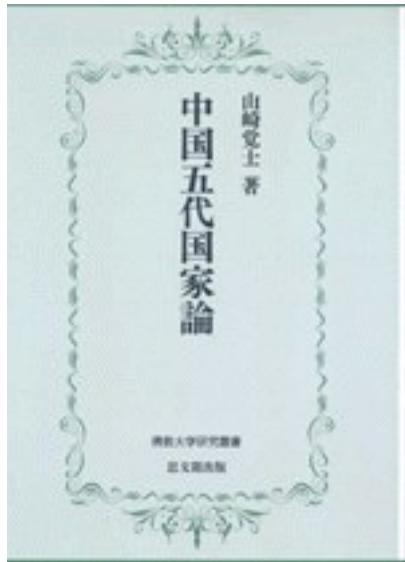


中国五代国家論



[中国五代国家論 下载链接1](#)

著者:山崎覚士

出版者:思文閣出版

出版时间:2010-11

装帧:平装

isbn:9784784215454

中国史において五代十国時代は、一般に分裂・混乱期とされてきた。しかし本当に単なる無秩序・不条理の時代であったのか。各國間の均衡を保つ、何らかの秩序が存在していたとは考えられないか。本書は、当該期に働く国際的な秩序構造に目をむける。第一部「天下のうち」篇では「平王」などの爵位や藩鎮制、国書の検討から「中国」一諸国間の支配関係を考察し、第二部「天下のそと」篇では中国の権力構造に含み込まれつつも、海上に新たな国際秩序をつくろうとした吳越国に焦点をあてて論じる。既成の史観をはなれ、五代十国時代における「国家」の構造を明らかにする意欲作。

作者介绍:

山崎 覚士

1973年大阪府生。大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。博士（文学）。佛教大学歴史学部歴史学科准教授

目录: 五代政治史研究の成果と課題

第1部 天下のうち篇（五代の「中国」と平王）

五代「中国」の道制—後唐朝を中心に

呉越国王と「真王」概念—五代天下の形成、其の一

五代における「中国」と諸国の関係—五代天下の形成、其の二)

第2部 天下のそと篇（九世紀における東アジア海域と海商—徐公直と徐公祐）

唐末杭州における都市勢力の形成と地域編成

未完の海上国家—呉越国の試み

港湾都市、杭州—五代における都市、地域、海域)

五代天下のうちとそとの形成

・・・・・ (收起)

[中国五代国家論 下载链接1](#)

标签

五代史

海外中国研究

宋史

東國漢學

日本汉学

日本东洋学

日人漢學

政治史

评论

很好奇为什么做五代的人比较少看这本书，我个人觉得这本书在很多方面都有突破，比如在「平王」与五代「天下国家」的部分，以及吴越国试图通过海洋来建立的「朝贡关系」，但是，以来因为五代材料有限，总感觉作者的展开并不充分，第二则是作者的天下关系很多层面上更依赖物质朝贡这个面相，我觉得恐怕过分放大了。

第一本啃完的日语著作，纪念。

以渡边信一郎提到的“天下秩序”為核心，試圖構架一個將“中國”“國”“敵國”三者概念區別開的“天下秩序”，此為五代特有。關於這種天下秩序的行成因素，作者認為是南方諸國對海外貿易的促進使得各地聯繫更為緊密，導致地方政權存在意義消失，促成宋天下一統局面形成。

[中国五代国家論 下载链接1](#)

书评

[中国五代国家論 下载链接1](#)